

どうして「国際相続」は複雑になるのか？ 増え続ける国際相続の実際の手続を、ケーススタディからひも解く



基礎からわかる 国際相続の実務 Q & A

アメリカを中心とした
海外資産・海外在住者の
相続手続・対策を知る83問

弁護士 西原和彦 著

2023年2月刊 A5判 480頁 定価6,050円(本体5,500円)
978-4-8178-4855-0 商品番号:40929 略号:国相

CHECK

典型的な「国際相続」のケース

01

日本に住む被相続人に海外資産がある場合の対応

夫が日本で亡くなりました。相続人は日本に住む配偶者である私と、子2人です。私たち家族は4人も日本国籍で、ずっと日本に住んでおり、外国での居住歴はありません。夫は、日本とカリフォルニア州のそれぞれに不動産や預金などの資産を持っていました。遺言が残っていない場合、どのように相続手続を進めればよいでしょうか。

02

海外に長年居住する相続人への対応

私の兄は若い頃にアメリカに渡り、そのまま何十年も音信不通です。先日、日本に住む私たちの父が遺言を残さず亡くなりました。相続問題について、どこからどのように対応していけばよいでしょうか。

注目すべき論点を書籍で解説!

03

海外在住日本人による日本における相続への対応

私は若い頃にアメリカに渡りアメリカ市民権を取得しました。日本に住む父が亡くなり相続問題が発生しました。弟から一方的に遺産分割協議書が送られ「サインして返送するように」と伝えられています。どのように対応すればよいでしょうか。父がすべての遺産を日本に居住する相続人に相続させるとする遺言を残していた場合はどうでしょうか。

04

被相続人が海外在住日本人の場合の日本における相続への対応

父は私の母と離婚後に渡米し、アメリカでアメリカ市民の女性と再婚して子をもうけました。その父がアメリカで亡くなりました。相続人はアメリカで同居する現在の妻とその子、日本に住む私です。父は日本とアメリカに不動産や預金などの資産を持っていました。どのように相続手続を進めればよいでしょうか。

CHECK

目次と設問抜粋(全83問)

第1 国際相続はなぜ複雑なのか

第2 国際相続手続に立ち向かうために必要となる知識

Q05 アメリカのプロバートの流れ

Q09 国際相続に関する調停、審判の国際裁判管轄

第3 国際相続が起きた場合の対応

Q20 日本における外国遺言の検認

Q22 アメリカで選任された遺言執行者の日本における権限

Q23 外国での相続人調査

Q27 日本における国際的な遺産分割と未成年の特別代理人

Q30 日本における国際的な相続放棄

第4 国際相続が起きた場合の相続税・遺産税

Q38 海外遺産の日本の相続税における評価とその売却時の税務

第5 エステートプランニングに必要な知識

Q45 アメリカの国外財産調査制度

Q51 アメリカの信託と日米における課税・QDOT

Q55 アメリカ共同名義口座、合有不動産の税務

Q56 外国人の日本式遺言

第6 海外投資に必要なとなる知識

Q61 キャブティブ

Q66 アメリカ不動産投資における日本の税務

Q68 海外不動産収益に対する日本の法人税

Q73 国際的な二重課税の回避

第7 日本への帰国

Q80 アメリカの公的年金とIRA

第8 ケーススタディ

…など

法務・税務の両面から解説!

